

2011 山村留学ネットワーク研修会 in 京都 報告

2011/11/24(木) ~ 25(金) 京都府南丹市美山

当協会では、山村留学関係者への情報提供や、山村留学実施地域の相互交流を図るため、年2回の山村留学ネットワーク研修会を、子どもゆめ基金の助成を受けて実施しています。

この度、2011 年度第1回研修会として、京都府南丹市美山地域にて1泊2日の研修会を実施しました。各団体の事例発表や活動の取り組み・情報交換を通して、課題や現状を話し合うことができ、有意義な時間となりました。



事例発表1 「京都府南丹市美山の取り組み」

旧美山町は、平成10年に第1期生を受け入れ、今年で13年目を迎える留学地域です。センター活動を中心に、週1回の農家宿泊体験を取り入れたり、地域のNPOなどと連携して、多彩な活動を展開しています。

対象は小学生のみですが、例年6~8名の留学生が学んでいます。

(写真) 運営委員長の澤田さんと1期生で現センター指導員の松本さん。



<http://www.cans.zaq.ne.jp/miyamasanryu/index.html>



11/24 文化ホールでの研修



事例発表2 「田歌舎の活動と取り組み」

美山の自然や文化を生かして、農業や狩猟、各種アウトドア体験を実践している団体です。山村留学関連でも夏休みキャンプや活動時に連携をとっています。

代表の藤原さんのお話は興味深く、環境教育のポイントとして挙げた5項目は、山村留学の現場でも通じるのではと感じる内容でした。

- 「本物の自然で遊ぶ」(視野が広がる、人の力が及ばないものを知る)
- 「本物の文化を見せる」(積み重ねの偉大さを感じる)
- 「本物の技術を見せる」(敬意を育てる)
- 「仕事(暮らし)や遊びを一緒に楽しむ」(信頼関係の構築)
- 「仕事(暮らし)や遊びを一緒に頑張る」(達成感の共有)



<http://www.cans.zaq.ne.jp/fuajs500/top.html>



11/25 田歌舎での野外実習

事例発表3 「福岡県八女市星野の取り組み」

旧星野村の山村留学は開設から22年、約180名の子どもたちが、これまでに巣立っていきました。

センターを中心に、剣道や和太鼓を必須として留学生に体験させていたり、親子参加型の山村留学を心がけているという星野の山村留学。今年は10名の留学生が生活しています。

センター指導員の石川さんからは、現在抱えている課題として、後継者の育成や地域との協力関係の構築などの話もありました。

<http://www.sanryu.info/>



11/24 八女市星野の発表

次回研修会は、H24/1/23~24に、東京にて開催予定です。詳細は決まり次第皆様にお知らせいたします。ぜひご参加下さい!

主催：特定非営利活動法人 全国山村留学協会

〒180-0006 東京都武蔵野市中町 1-6-7-5F

tel:0422-56-0595/fax:0422-56-0351/info@sanryukyo.net